

第 273 回 日本皮膚科学会東海地方会

プログラム

日 時 2015 年 9 月 6 日 (日) 14:00～16:35

会 場 藤田保健衛生大学 生涯教育研修センター6 階
〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98
電話 0562-93-2000(代)

※全館禁煙のため、ご協力をお願い致します

東海地方会事務局

ホームページ：<http://jd-tokai.umin.jp>

お問い合わせ E-mail：tdjda-hq@umin.ac.jp

開催担当

藤田保健衛生大学医学部皮膚科学講座

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

TEL：0562-93-9256/FAX：0562-93-2198

松永佳世子

1 (ス) 右手指に生じた epithelioid hemangioendothelioma の 1 例

佐竹 史章¹⁾、神谷 秀喜¹⁾、北島 康雄¹⁾、松永 研吾²⁾、山田 鉄也²⁾

¹⁾木沢記念、²⁾同病理診断科/病理診断センター

49 歳男性。3 か月前より気づく痛みを伴う右中指の紅色結節。組織学的に epithelioid hemangioendothelioma と診断した。

2 (ス) 小児の背部に生じた結節性筋膜炎の 1 例

花村 拓哉、満間 照之、牧 優貴、梶村 有里子、浅井 理玲、笹田 佳江

一宮市立市民

13 歳男児、初診 2 か月前より左上背部に皮下腫瘍があり増大し近医外科で摘出術を受けた。悪性腫瘍と診断され当科紹介受診した。

3 (ス) 関節リウマチ治療中に生じたメトトレキサート関連リンパ増殖疾患の 1 例

牧 優貴、満間 照之、花村 拓哉、梶村 有里子、浅井 理玲、笹田 佳江

一宮市立市民

73 歳女性、関節リウマチで近医通院中、1 か月前から胸部と左腹部に隆起性病変が出現し拡大してきたため当科受診した。

4 (一般) Vemurafenib 投与が有効であった頭部悪性黒色腫の 1 例

加藤 徳子^{1,2)}、竹尾 友宏¹⁾、渡辺 大輔¹⁾、高橋 恵美子²⁾、原 一夫²⁾

¹⁾愛知医科大、²⁾同病院病理部

85 歳女性。平 25 年 12 月頭部悪性黒色腫と診断。原発巣切除後、DTIC+Feron、Nivolumab 投与するも PD。Vemurafenib 投与にて SD。

5 (一般) 当院における Nivolumab 投与患者の検討

岩下 宣彦¹⁾、竹尾 友宏¹⁾、水谷 建太郎¹⁾、加藤 徳子¹⁾、藤田 ゆかり¹⁾、平野 有規奈¹⁾、

渡辺 大輔¹⁾、久保 昭仁²⁾

¹⁾愛知医科大、²⁾同臨床腫瘍センター腫瘍内科

抗 PD-1 抗体である Nivolumab を投与した患者の経過を評価した。その効果には個人差があり、比較・検討を行った。

6 (一般) 鼻唇溝部の基底細胞癌の 3 例

田中 義人¹⁾、稲坂 優¹⁾、白田 俊和¹⁾、鶴見 由季¹⁾、伊藤 有美¹⁾、小寺 雅也¹⁾、

岩田 洋平²⁾

¹⁾中京、²⁾藤田保健衛生大

鼻唇溝部の基底細胞癌 3 例。当施設では、腫瘍を確実に切除後に、頬から皮弁を作成し再建するという二段階方式を基本としている。

7 (一般) 両下腿切断に至ったリウマチ性血管炎の 1 例

岡田 佳倫¹⁾、東山 文香¹⁾、欠田 成人¹⁾、横山 智哉¹⁾、尾本 陽一¹⁾、波部 幸司¹⁾、

山中 恵一¹⁾、大田 斌人³⁾、若林 弘樹²⁾、水谷 仁¹⁾

¹⁾三重大、²⁾同整形、³⁾小山田温泉記念整形

83 歳女。リウマチ性血管炎にて右下腿切断後 PSL、免疫抑制剤で治療。健側の壊疽を新たに生じ、最終的に下腿切断を施行した。

8 (ス) 足根骨髄炎を合併し、中足骨の骨切り術を行った糖尿病性足壊疽の 1 例

榊原 章浩、滝 奉樹、村瀬 友哉、藤田 陽奈、唐澤 卓生、影山 潮人

安城更生

70 歳男。未治療の糖尿病あり。微小な外傷より右母趾の黒色壊死が進行。足根骨髄炎に抗生剤投与後、中足骨骨切り術を施行。

9 (ス) タンポン使用中に生じた toxic shock syndrome(TSS)の 1 例

小野 友華¹⁾、山北 高志¹⁾、岩田 洋平¹⁾、沼田 茂樹¹⁾、都築 誠一郎²⁾、松永 佳世子¹⁾

¹⁾藤田保健衛生大、²⁾同救急総合内科

47 歳女性。タンポン使用中に発熱、意識障害、水様性下痢、全身のびまん性紅斑が出現。腫培養で MSSA, TSST-1 陽性。

10 (一般) Day Surgery の実際 —シミの治療—

柴田 真一

名古屋市

大きな老人性色素斑にフラッシュランプ (IPL) 治療の反応は低い。Q スイッチレーザー治療の経験、コツについて述べる。

11 (一般) 片側優位性に症状を呈した点状掌蹠角化症の 1 例

滝 奉樹¹⁾、小川 靖¹⁾、秋山 真志¹⁾、榊原 彰浩²⁾

¹⁾名古屋大、²⁾安城更生

75 歳、男性。55 歳頃から掌蹠の陥凹性角化性病変が特に右側に多発した。家族歴、合併悪性腫瘍、AAGAB 変異を認めなかった。

12 (ス) 全身性柑皮症の 1 例

原田 登由¹⁾、稲垣 貴史²⁾、松永 佳世子³⁾

¹⁾公立西知多総合、²⁾知多市、³⁾藤田保健衛生大

33 歳男性。1 年前から全身皮膚の黄色調を指摘されるようになり当科受診。βカロテン 378.4 μg/dl と異常高値。

休憩 15:20~15:35 (15分)

セッション3 15:35~16:10 座長 岩田 洋平

13 (一般) ヒドロキシクロロキンで治療した皮膚エリテマトーデスの2症例

山東 優、室 慶直、杉浦 一充、秋山 真志
名古屋大

本年エリテマトーデスの治療薬として認可されるヒドロキシクロロキンを用いて、2例のDLEを治療したので結果について報告する。

14 (一般) 筋炎症状にIVIGが有効であったMCTDの1例

伊藤 満、加藤 元一、周 円、加納 宏行、清島 真理子
1)大垣市民、2)岐阜県総合医療センター、3)岐阜大

49歳女性。MCTDと診断後、ステロイド内服、ステロイドパルスで十分な効果が得られず。IVIGにより筋炎症状が著明改善。

15 (一般) アダリムマブ投与で改善した関節リウマチを伴う壊疽性膿皮症による多発下腿潰瘍の1例

松島 由明、宮崎 満利子、津田 憲志郎、横山 智哉、尾本 陽一、波部 幸司、山中 恵一、水谷 仁
三重大

60代男性。関節リウマチと難治性多発下腿潰瘍あり。壊疽性膿皮症と診断しアダリムマブ導入にて上皮化した。

16 (一般) 壊疽性膿皮症を契機に見つかった多発性骨髄腫の1例

守屋 智枝、周 円、加納 宏行、清島 真理子、原 武志、宮崎 龍彦
1)岐阜大、2)同血液内科、3)同病理部

79歳男性。7か月前から右下腿の潰瘍が出現。生検で壊疽性膿皮症と診断、多発性骨髄腫の合併あり。プレドニゾン内服で軽快。

17 (一般) 治療中に上腸間膜動脈血栓症、サイトメガロ腸炎を併発した皮膚筋炎の1例

渡邊 総一郎、岩田 洋平、秋田 浩孝、矢上 晶子、古田 晋平、室 慶直、吉田 俊治、松永 佳世子
1)藤田保健衛生大、2)同上部消化管外科、3)名古屋大、4)藤田保健衛生大リウマチ・感染症内科

65歳女性のフェリチン高値CADM。PSL・CyAにてIP発症はなし。SMA血栓症、CMV腸炎を併発し長期入院を要した。

セッション4 16:10~16:35 座長 佐野 晶代

18 (ス) カルボシステイン®錠による多発型固定薬疹の1例

美浦 麻衣子、齋藤 健太、安藤 亜希、村手 和歌子、鈴木 加余子、松永 佳世子
1)刈谷豊田総合、2)藤田保健衛生大

39歳女性。半年前から顔面四肢に色素沈着を残す紅斑が繰り返すため受診。パッチテスト陰性、内服テスト陽性。

19 (ス) ペンキによる職業性接触皮膚炎症候群の1例

小野田 裕子、佐野 晶代、良元 のぞみ、高橋 正幸、山北 高志、中谷 明美、岩田 洋平、矢上 晶子、鈴木 加余子、松永 佳世子
1)藤田保健衛生大、2)同アレルギー疾患対策医療学、3)岐阜市、4)刈谷豊田総合

24歳男性。ペンキ塗装業。全身に紅斑出現。パッチテストでペンキ含有エポキシ樹脂に陽性。臨床症状より接触皮膚炎症候群と診断。

20 (一般) アキシチニブによって皮膚障害を生じた1例

春本 真以、渡辺 正一、井汲 今日子、新谷 洋一、加藤 裕史、濱本 周造、森田 明理
1)名古屋市立大、2)同泌尿器科

53歳、男性。腎細胞癌治療にてアキシチニブ内服中、全身に紅斑、紫斑および水疱が出現。アキシチニブ内服中止後、皮疹は軽快。

21 (一般) 魚類による経皮感作により発症した職業性魚アレルギー

矢上 晶子、佐野 晶代、山北 高志、渡邊 総一郎、萩原 宏美、岩田 洋平、鈴木 加余子、中村 政志、下條 尚志、大谷 晶子、松永 佳世子
1)藤田保健衛生大、2)同アレルギー疾患対策医療学、3)刈谷豊田総合、4)名古屋市

17歳女性。1年前より回転寿司店でバイトを開始。3カ月後より魚による接触蕁麻疹、1年後より魚摂食後に咽頭腫脹、腹痛が出現。